

フォートブラッグ受入事業の報告

町は、姉妹都市であるアメリカ・カリフォルニア州フォートブラッグ市との友好関係をより深めると同時に、誇りを持って大槌の魅力や特性を世界に発信できる「グローバル」な人材の育成を図るため、平成13年度から姉妹都市生徒間交流事業を実施しています。

今年度は9月22日(土)から29日(土)の間、フォートブラッグ市から高校生を含む9名が来町しました。フォートブラッグ市からの派遣団は、町内ホストファミリーとのホームステイ生活や、町内学校訪問、文化体験プログラム等に参加しながら、町民との交流を深めました。

文化体験(大槌まつりなど)



町内学校訪問



ホームステイ生活



フォートブラッグ市交流生の声

①ローレイ・ヒョードーさん



祖母が日本人です。初めて日本に来ましたが、懐かしい気持ちになりました。大槌の素晴らしい人と景色に、とても感動しました。お世話になったホストファミリーの事をずっと忘れません。

②アテナ・アンダーソンさん



こんなにいい体験をさせていただき本当にありがとうございます。ホストファミリーの皆さん、全てにおいてありがとうございます！また一緒に過ごせる時間があるといいなと思います。

③アラニー・ヤーネズさん



美味しい料理と素晴らしい時間をくれたホストファミリーの皆さんありがとうございます。各学校で授業体験できたことも、いい経験となりました。大槌はとても素敵な場所です！

④ソフィア・トゥーミーさん



ホストファミリーの皆さん、娘のように受け入れてくれてありがとう。ピザパーティーで色々な人と出会えた事、各学校の生徒達が温かく受け入れてくれた事がとても嬉しかったです。

⑤クレイ・アンダーソン君



ホストファミリーとの思い出はとても忘れがたいものとなりました。自分の家のように感じる事ができました。全ての皆さんに感謝しています。みんな大好きです。ありがとうございます！

⑥ミレーヤ・ガルシーアさん



特に印象に残っている事は、祭りに出て、美しい郷土芸能を見ることが出来たことです。大槌の美しい景色、素晴らしい人々、お母さんが作ってくれた美味しい料理を一生忘れません。

ホストファミリーの声

11月4日(日)、シーサイドタウンマストで事業報告会および写真展を開催し、ホストファミリーを経験した家族の皆さんが、体験談や自身に起きた変化などを発表しました。

(生徒の意見) 異なる文化の違いを理解するために、英語を勉強しているのだとわかった。英語が好きになり、積極的に授業に臨むようになった。/ フォートブラッグ市に行くため、もっと英語を頑張りたい。/ さらに英語を学ぶため、英文学科のある大学を進路志望した。/ とても楽しかったので、今後は交流期間をもっと長くしてほしい。

(保護者の意見) この事業に参加したことで、子供の英語学習意欲が増した。/ 当初は不安や心配ばかりだったが、だんだん楽しいと思えた。/ 保護者自身も国際交流への興味関心が、大いに高まった。/ 子供への教育、経験になるので、多くの家庭に参加を勧めたい。/ 多くの家庭・生徒が参加しやすい形で、事業を継続してほしい。



10月28日 土坂峠トンネル化シンポジウム 2018を開催

町民の長年の悲願である土坂峠のトンネル化実現に向け、10月28日(日)に土坂峠トンネル化シンポジウム2018が開催されました。シンポジウムの第1部では、「これからのみちづくりについて」と題し、一般財団法人日本みち研究所の川瀧弘之氏が、地域における道づくりの重要性や効果などについて講演しました。

第2部では、おおつち保育園園児による和太鼓演奏「children drums」によって、オープニングに花が添えられたほか、本田敏秋遠野市長による「トンネル整備への取組み」に関する説明や株式会社山岸産業の山岸千鶴子専務取締役による決意発表が行われ、最後には、参加者約250人の万感の拍手のもと大会決議文が採択されました。

今後、町は町民の思いをのせた決議文をもって、国や県などの関係機関に対し要望を行い、土坂峠トンネル化の一日も早い実現を目指していきます。



11月1日 100歳おめでとうございます ~太田シツさん(大正7年生まれ)~

11月1日に太田シツさんが満100歳の誕生日を迎えられ、町内のご自宅にて、町長から直筆の記念色紙とお祝い金を贈呈しました。

太田さんは、大槌町生まれ。働き者で、旧満州に開拓に行っていたこともあるそうです。震災後しばらく内陸に避難していましたが、現在は、今年7月に再建したご自宅でご家族と一緒に元気に生活されています。

好きな食べ物は「あんこ餅」とのこと。桃色のちゃんちゃんこは、百寿のお祝いにお孫さんから贈られたものです。



11月9日 佐藤典男さん、佐藤稲満さんが 岩手県知事表彰を受章

民生委員、児童委員を務めている佐藤典男さんと佐藤稲満さんが、第71回岩手県社会福祉大会で社会福祉事業功労者として岩手県知事表彰を受章し、11月9日(金)、町長を表敬訪問しました。佐藤典男さんは平成4年12月1日から民生委員児童委員として地域の社会福祉の増進にご尽力されました。佐藤稲満さんは平成6年1月1日から主任児童委員として子どもに関する相談などに対応し、児童福祉の向上に努められました。



11月14日 大槌町赤十字奉仕団 金色有功章を受章

「岩手県赤十字大会」において、大槌町赤十字奉仕団が金色有功章を受章され、11月14日、町長を表敬訪問しました。大槌町赤十字奉仕団は、平成8年11月に結成され、多年にわたり、防災訓練での炊き出し活動、地域のボランティア活動、献血推進活動、赤十字事業の進展に尽力し多大な貢献をされました。大槌町の福祉向上のため、献身的に活動を続けてこられた功績がたたえられ、この度の受章となりました。

